

12月24日

地方自治の振興と発展に貢献 近江屋茂議長が北海道社会貢献賞を受賞

今回受賞した近江屋議長(左)



町議会近江屋茂議長が、令和6年度北海道社会貢献賞(自治功労者)を受賞し、12月17日に札幌市で開催された表彰式に出席し、その報告会が12月24日、役場で行われました。この賞は、長年にわたり市町村長や市町村職員・議会議員として地方自治の振興と発展に貢献された方の功績をたたえるものになります。近江屋議長は2004年から町議会議員、2016年から町議会副議長、2020年から町議会議長として、地方自治の振興発展に寄与された功績から今回の表彰となりました。

12月19日

町産ブドウ「山幸」を使用 「テシカ 樽熟成赤2023」を販売

新作テシカを手にして



テシカガタウンラボ(上村剛志社長)が12月19日、1月10日から一般販売される「テシカ 樽熟成2023」の発表を役場で行いました。テシカは地域おこし協力隊の龍龍奈津子さんが中心となって開発し、三笠市のタキザワワイナリーで醸造しました。製造には、酸化防止剤の使用を必要最低限にし、ろ過をしていないとのこと。オーク樽のパニラのような香りとベリーやスパイスのような香りが調和し、心地よい飲みと伸びやかな酸の余韻が続くのが特徴です。龍龍さんは「樽熟成からこだわり、ブドウのおいしさを最大限引き出すことができた。」と話していました。

12月13日

長年にわたり地方自治の発展に貢献 故 岩崎義人さんが旭日単光章を受章

勲章と勲記を受け取った岩崎順子さん(左)



2023年7月に逝去された元町議会議員の故岩崎義人さんに、特別叙勲・旭日単光章が授与され、その伝達が12月13日に行われました。岩崎さんは2008年から2020年まで3期12年にわたり、町議会議員を務めました。長年にわたり、地方自治の発展と社会福祉の向上に貢献したとして、今回の受章となり、徳永町長から勲章と勲記が岩崎さんの妻・順子さんに手渡されました。

カメラスケッチ

広報マンが行く!!

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

12月27日

甘くておいしい 川湯保育園がみかんを受贈

笑顔で食べる園児たち



川湯保育園(番場新一郎園長)に12月27日、みかんが寄附されました。寄附したのは標茶町在住の梅田日出光さんと、令和2年秋に旧園舎の畑で起きた農作物の盗難事件以降、果物などを寄附されています。認定こども園ましゅう(鈴木幸楽園長)にも同じく寄附されました。寄附された大きなみかんに大喜びの園児たちは「甘くておいしいね!」と笑顔浮かべ、夢中で食べていました。

12月24日

地域防災力の向上に貢献 辻谷建設(株)が北海道社会貢献賞を受賞

今回受賞した辻谷代表取締役(左)



辻谷建設(株)(辻谷智之代表取締役)が、令和6年度北海道社会貢献賞(防災功労者)を受賞し、その報告会が12月24日、役場で行われました。この賞は、多年にわたり町や学校、地域と幅広く連携した防災活動を実施するなど、地域防災力の向上に多大な貢献をした功績をたたえるものになります。同社は、3年連続で町の総合防災訓練に炊出しの実施や2008年以降、立木伐採や草刈りなど社会貢献の実績が高く評価され、今回の表彰となりました。

12月17日

人権擁護委員とは 人権教室を開催

人権擁護委員の活動を学ぶ児童



釧路人権擁護委員会主催の人権教室が12月17日、和琴小学校(大山道弘校長)で開催されました。講師は、町人権擁護委員の金井典子さん、芳藤啓順さん、日下部眞理子さんが務め、人権擁護委員が日々どんな活動をしているのか紹介しました。参加した12人の児童は、人権教室のほかにも、人権相談や町内のイベントで啓発運動を実施していることなど、自分たちの身近なところで活動していることを知ることができました。

12月14日

命を守る行動を 子育て世代向けの防災講座を開催

ハザードマップ参加者



子育てサークル「てしファミ」(生永絵美子代表)は12月14日、子育て世代向けの防災講座を開催しました。同サークルで非常食の試食をしたことをきっかけに、子どもが家族向けに防災について学べる機会があればと企画し、今回が初開催となりました。講師には、防災士の資格を持つ町社会福祉協議会の佐藤康弘事務局長を招き、命を守る行動について学びました。その後グループワークでは、町内のハザードマップを使用し、市街地に住む4人家族という設定で、大雨による災害により自宅や職場、学校などそれぞれ孤立してしまった想定で行われ、どうすれば孤立せずに済んだのか話し合いました。講座には、親子や防災士など約25人が参加。多世代の人が参加し、地域のつながりのきっかけにもなりました。

1月4日

防災意識を新たに 弟子屈町消防出初式を開催

観閲式の様子



弟子屈町消防出初式が1月4日、弟子屈消防庁舎前で行了われました。出初式は、地域住民の防災意識を高めるとともに、消防職員の士気高揚を目的に開催。徳永釧路北部消防事務組合長らによる観閲式などが行われました。徳永組合長は「日頃から防災意識を高め、災害時には消防職員が中心となって町民と力を合わせて対応できるよう訓練に励んでほしい。」と話していました。また、出初式の後には、長年消防活動に尽力してきた消防団員の表彰伝達式も行われました。

12月27日

飲酒運転や詐欺防止 年賀タウンメール差出交付式を開催

配達員にはがきが交付される



弟子屈地区金融機関防犯連絡協議会(北洋銀行弟子屈支店長小枝憲正会長)は弟子屈警察署(五十嵐敏行署長)と連携し、啓発運動として「振り込め詐欺防止・飲酒運転撲滅年賀タウンメール」を作成し、その差出交付式が12月27日、弟子屈郵便局(藤原将男局長)で行われました。同協議会は2014年から年賀タウンメールを作成し、今年で10回目。今回は社会問題となっている飲酒運転や特殊詐欺などへの注意喚起が書かれています。小枝会長は「玄関や電話の近くにはがきを置いてほしい。」と話していました。

12月19日

強盗と詐欺を想定して 屈斜路郵便局で模擬訓練を実施

強盗対策訓練の様子



日本郵便(株)釧路北部会(標茶郵便局長増尾貴文部会長)は12月19日、屈斜路郵便局(三塚勝也局長)で強盗と特殊詐欺を想定した模擬訓練を弟子屈警察署の協力の下、実施しました。強盗模擬訓練では、同署員が演じる強盗の男が銃を社員に向け声を荒げ金銭を要求。局員は冷静に対応し、郵便局を出た男にカラーボールを投げ付けました。特殊詐欺防止訓練では、通話しながらATMで現金を振り込もうとしている方に声をかける想定で実施。「SNSで知り合った友人が困っていて、騙されていない。」と反論されても、何とか局内に案内することができました。同署員から「どちらの訓練も素晴らしい対応だった。」と講評があり、局員は犯人の落し物には触れないことや怪しいと感じた時は、積極的に声をかけることを学ぶことができました。

12月18日

卒業記念に ふるさと陶芸体験学習を実施

体験学習の様子



令和6年度ふるさと陶芸体験学習が12月18日、弟子屈中学校(小林一博校長)で行われました。中学校3年生を対象にふるさととの粘土を使用して陶芸作品を製作し、思い出作りや地元をより好きになってもらうことを目的として毎年行われています。講師には、川湯陶房周多夢窯の平出隆子さんとスタッフの皆さんの指導の下、22人の生徒が参加しました。生徒たちは、カップの側面に絵などを描き世界に一つだけの作品を作りました。